

オイコノミア

松島和志

ママが食事作らなくなる

僕はひとりで食事を楽しむ

そのときはじめて、ママと言える　モモとかナナとか女の名前として

ママが歯磨かなくなったら僕はブラシ口に突っ込む

そのとき、僕は初めて子供を育てる

ママそのとき涙が出る

あつい涙が流れていく

ママ、飴舐めなよ

歯磨いたばっかりだけど

ママはきつと名前知らない

ママという名前しか知らない。

だから

偽物のアーチをくぐってはいけない

砲台が鳴く

しあさつての方向に

ライオンが鳴く

しばらくして鳥も鳴く

美しからざるものたちは町を追われて歩き出す

まるで死に場所探しのように。

僕はママではない女に花を買う

そのときはじめて、ママと言える　メメとかネネとか女の名前として

僕はいま切実な花を小脇にかかえ明け方の砂漠を歩く

這う虫のように

吸う息を数える。